

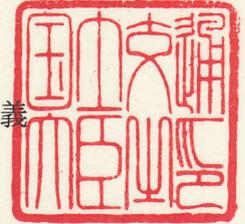
# 認定書

国住指第 2315 号

平成 20 年 10 月 20 日

因幡電機産業株式会社  
代表取締役社長 守谷 承弘 様

国土交通大臣 金子 一義



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項に  
~~おいて準用する場合を含む。~~）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号  
ハ [防火区画貫通部 1 時間遮炎性能] の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号

PS060FL-0440

2. 認定をした構造方法等の名称

排水管 / モルタル充てん / 床耐火構造 / 貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

排水管／モルタル充てん／床耐火構造／貫通部分(中空床を除く)

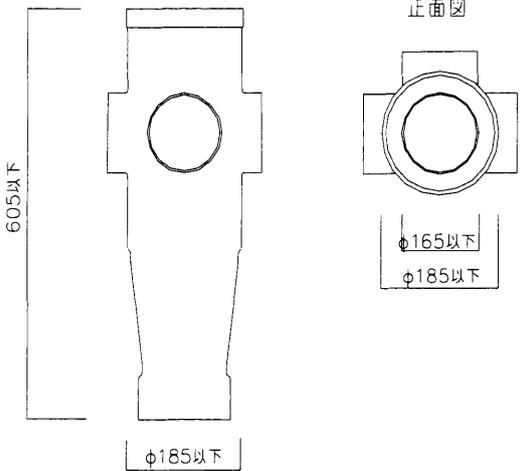
2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
開口部	形状：円形 面積：0.04117m <sup>2</sup> 以下(φ0.229m以下)
占積率 (開口面積に対する排水管断面積の総合計の割合)	65.26%以下
貫通する床の構造等 (中空床を除く)	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) A L C ・厚さ 150 以上 (2) コンクリート ・厚さ 150 以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

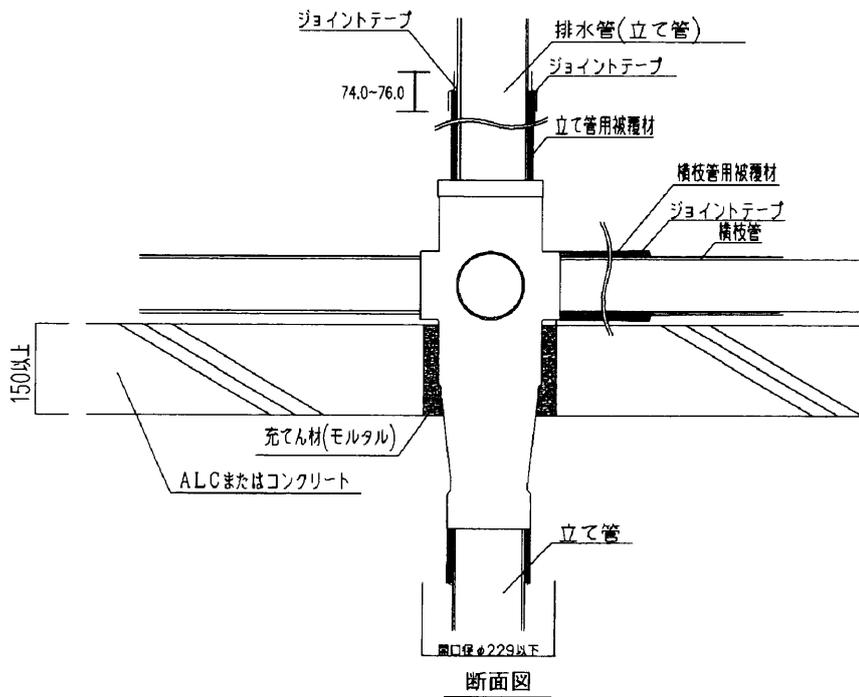
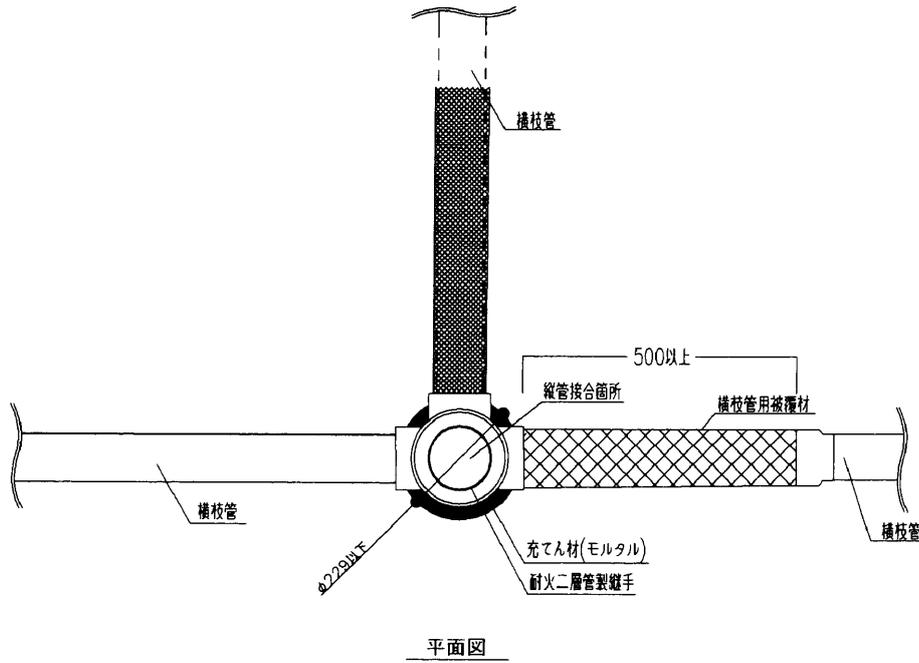
項 目	申 請 構 造
耐火二層管製 継手(集合管)	耐火二層集合管 ・外 径 185 以下(スラブ面貫通) ・内 径 165 以下 縦管接続配管 呼び径 φ100 以下 横枝管接続配管 呼び径 φ75 以下 ・形 状 下記参照
排 水 管	 <p>正面図</p> <p>φ185以下</p> <p>φ165以下</p> <p>φ185以下</p> <p>605以下</p> <p>[1] 外 管 繊維混入モルタル管 ・肉 厚 6.5 以上 [2] 内 管 硬質ポリ塩化ビニル管 ・肉 厚 6.0 以下</p>

	項 目	申 請 構 造
	立て管	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 114.6 以下 ・内径 101.4 以下 ・呼び径 100 以下 ・肉厚 7.6 以下 (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, HIVP 管) ・規格 JIS K 6742 ・外径 114.6 以下 ・内径 101.4 以下 ・呼び径 100 以下 ・肉厚 7.6 以下 (3) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT, IHT 管) ・規格 JIS K 6776 ・外径 60.4 以下 ・内径 52.2 以下 ・呼び径 50 以下 ・肉厚 4.9 以下
排水 管	横枝管	(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 89.5 以下 ・内径 78.5 以下 ・呼び径 75 以下 ・肉厚 6.3 以下 (2) 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (VP, HIVP 管) ・規格 JIS K 6742 ・外径 89.5 以下 ・内径 78.5 以下 ・呼び径 75 以下 ・肉厚 6.3 以下 (3) 耐火二層管 ・外径 102.0 以下 ・内径 78.5 以下 ・呼び径 75 以下 ・肉厚 12.3 以下 (3)-1 内管 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP 管) ・規格 JIS K 6741 ・外径 89.5 以下 ・内径 78.5 以下 ・肉厚 6.3 以下 (3)-2 外管 繊維混入モルタル管 ・外径 102.0 以下 ・内径 90.0 以下 ・肉厚 6.0 以上 (4) 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HT, IHT 管) ・規格 JIS K 6776 ・外径 60.4 以下 ・内径 52.2 以下 ・呼び径 50 以下 ・肉厚 4.9 以下

項 目		申 請 構 造	
排 水 管	立て管 及び 横枝管用 被覆材	[1] 無機質フェルト・ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト ・被覆長さ 500 以上 [1]-1 無機質フェルト  ・材 質 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) グラスウール (2) ロックウール (3) セラミックウール系フェルト [1]-2 ポリオレフィン系樹脂不織布付無機質混入改質アスファルト  [2] ジョイントテープ ・ 幅 74.0～76.0	
	防火措置材料	充てん材	材質 モルタル 調合 ポルトランドセメント：細骨材（珪砂等）：水 ≒ 1：3：0.4～0.8（構成比） 充てん厚さ 150 以上

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

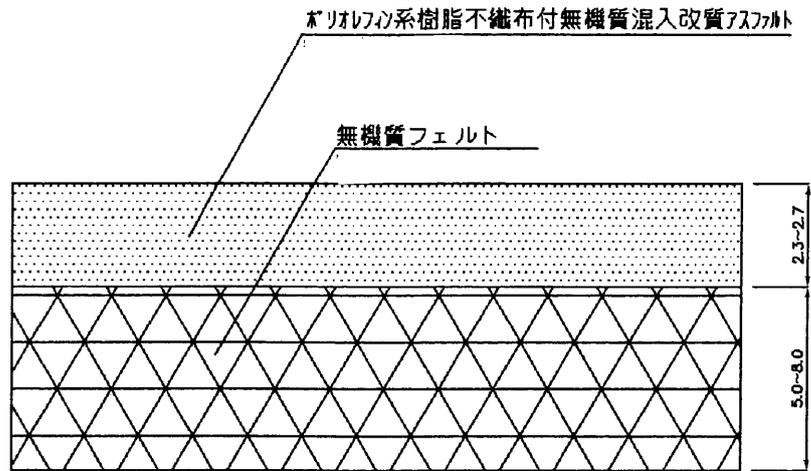


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

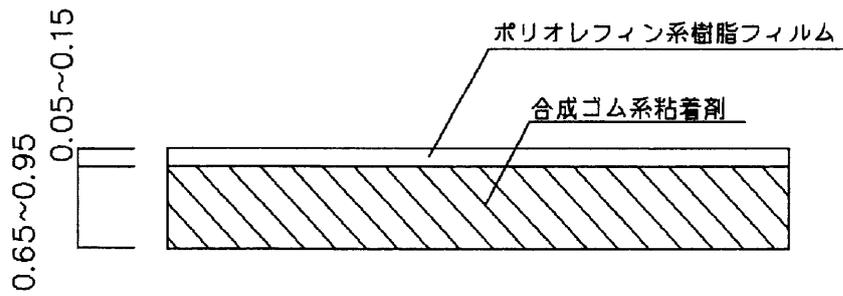
(別添-4)

被覆材の断面詳細図

(寸法単位：mm)



ジョイントテープの断面図



注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

(別添-5)

## 5. 施工方法等

施工手順及び施工図例を以下に示す。

### 〈施工手順〉

#### (1) 事前準備

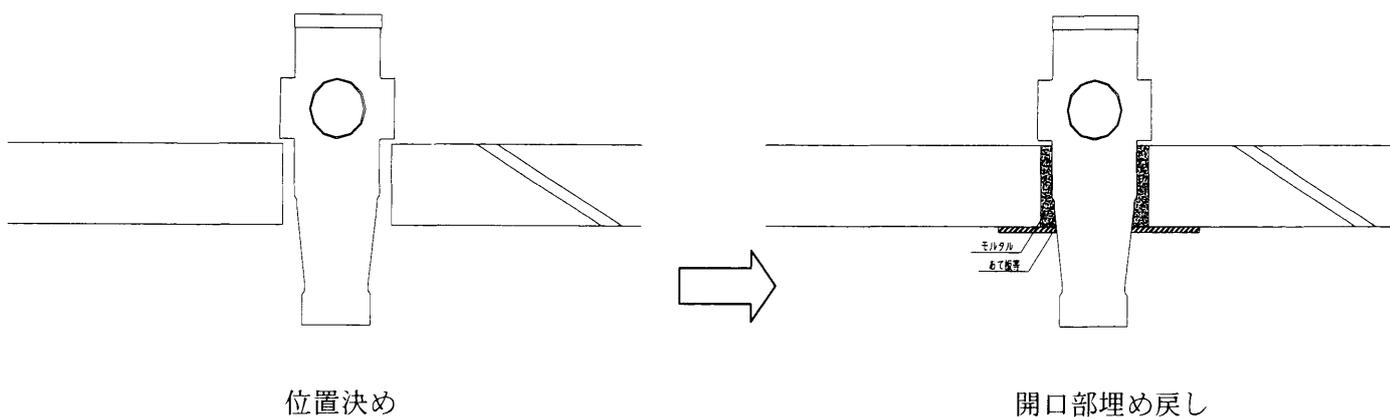
##### 開口部の設置

継手が区画貫通する位置に予め占積率を考慮した開口部を設置する（開口径φ229mm以下）。

#### (2) 区画貫通処置

##### ① 開口部の埋め戻し

継手（耐火二層集合管）を所定の位置に設置し、あて板などを固定して、開口部をモルタルで埋め戻す。十分に乾燥したらあて板を外し、隙間が無い事を確認する。隙間がある場合は、モルタルで補修すること。

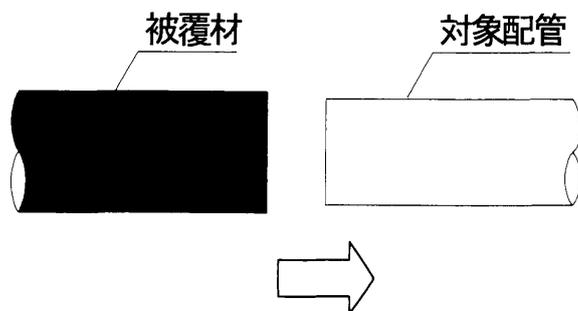


##### ② 管と継手の接続

継手の上下接続部に立て管を接続する。

継手の横枝管接続部に横枝管を接続する。

※ 必要に応じて予め被覆材を下図のように設置する。



③ジョイントテープの巻付け

配管と被覆材端部、集合管と被覆付継手部および被覆材同士の合わせ目に下図のようにジョイントテープを巻付ける。

